



ハ工成虫駆除用 殺虫剤

動物用医薬品

2016年12月改訂

承認指令書番号	24動薬第1317号
販売開始	2004年3月

貯法 室温

【成分及び分量】

品名	ノックベイト
有効成分	イミダクロプリド
含量	100g中0.50g

【効能又は効果】

畜・鶏舎内及び周辺のエエバ工成虫の駆除。

【用法及び用量】

設置法：

床面積100m²当たり200gを、畜・鶏舎内の通路及び出入口等の家畜が経口摂取できない場所に適切な容器に入れて設置する。本剤の使用量はエエバ工の発生状況により増減する。

塗布法：

床面積100m²当たり200gを160mℓの水に均一になるように混合し、約15～30分後にペースト状になったことを確認してから、家畜が直接接触することのない壁や柱等の一カ所あるいは何カ所かに分けて、畜・鶏舎全体の塗布面積が2～4m²になるように塗布する。

【使用上の注意】

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・使用前に添付文章等をよく読み、十分理解した上で使用すること。

(使用者に対する注意)

- ・本剤使用中は手袋を着用し、本剤が使用者の皮膚に付着したり、目や口に入らないように注意すること
- ・使用した後、又は皮膚に付着した場合は、石けん等でよく洗うこと。
- ・本剤の調製中又は塗布するときに本剤と接触しないように注意すること。

(対象動物等に関する注意)

- ・環境汚染、家畜及び犬その他の動物の誤食を防止する必要があるので、直接床や地面に本剤を散布しないこと。
- ・本剤には誤食防止の目的で苦味剤が添加されているが、本剤を容器に入れて畜・鶏舎内に設置した場合、犬は本剤に嗜好性を示し食べてしまうので、犬が食べることをないように、本剤を入れた容器を高い位置に置く、吊す、容器を金網等で覆う等の誤食防止処置を必ず行うこと。
- ・本剤は、蜜蜂、蚕に被害を及ぼす恐れのあるところでは使用しないこと。

(取扱い上の注意)

- ・本剤の取扱いには十分注意し、他の医薬品、食品、飼料等と区別し、家畜及び小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・使用後、残った薬剤は必ず保管場所に戻し、容器は封をしておくこと。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用済みの空容器等は、地方公共団体の条例や指導に従った廃棄物として処分すること。

2. 使用に際して気をつけること

(使用者に対する注意)

- ・万一、身体に異常を来した場合や誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちにクロロニコチニル系の殺虫剤を使用した旨を医師に申し出て診察を受けること。
- ・目に入った場合は、直ちに水でよく洗い流すこと。皮膚又は眼に刺激が残る場合は医師の診察を受けること。
- ・アレルギー体質等で刺激を感じた場合には直ちに使用を中止すること。

(対象動物等に関する注意)

- ・犬が本剤を誤食した場合、嘔吐、振戦(震え)等の症状が認められることがある。
- ・万一、犬が本剤を誤食した場合は、胃洗浄、吸着剤(活性炭等)の投与、輸液及び呼吸管理等の処置が有効であると考えられる。

(取扱い上の注意)

1. 設置法

- (1) 本剤は、風雨の影響を受けない畜・鶏舎内の通路及び出入口等の家畜が経口摂取できない場所に、容器に入れて設置すること。
- (2) 本剤は、例えば本剤が容易に風で飛ばないように高さをもつ浅く広い皿又はトレイ等に、なるべく均等になるように入れて設置すること。本剤を入れた容器をエエバ工がよく来る場所又はエエバ工が好んで休息する場所に数多く設置すると、より良い駆除効果を得ることができる。
- (3) 容器内にノックダウンしたエエバ工や混入したゴミ等は、新たなエエバ工の経口摂取を妨害すると思われる量に達する前に、速やか(ことり)除くこと。なお、エエバ工の経口摂取等により薬剤が消費された場合は適宜追加すること。
- (4) 本剤を使用するとき用いる容器は、食品用の容器等、誤用の恐れのあるものを使用しないこと。
- (5) 使用後の薬剤を廃棄する場合は、環境及び水系を汚染しないように

注意して回収し、地方公共団体の条例や指導に従った廃棄物として処分すること。

2. 塗布法

- (1) 本剤は、畜・鶏舎内の壁や柱等の家畜が直接接触することのない場所に塗布すること。特に家畜を係留する場所や犬等が舐める恐れがある場所、使用者が日常の作業で接触しやすい場所は避けること。
- (2) 本剤を重ね塗りする場合は、本剤が滴り落ちないように注意し、塗布面が乾いたことを確認した上で塗布すること。
- (3) 家畜・家禽の飼料、飼料箱、飲水、飲水器、搾乳機械等の保管場所の上部には本剤を塗布しないこと。
- (4) 本剤はエエバ工がよく来る場所又はエエバ工が好んで休息する場所に塗布すると、より良い駆除効果を得ることができる。
- (5) エエバ工の経口摂取等により薬剤が消費された場合、本剤のにおいが薄れてエエ工が集まらなくなった場合は、適宜追加塗布すること。
- (6) 本剤を壁や柱等から除去する場合は、土壌や水系等の環境を汚染しないように削り取るか水で湿らし布等で拭き取る等の方法で回収し、地方公共団体の条例や指導に従った廃棄物として処分すること。

中毒時の緊急連絡先 (公財)日本中毒情報センター

大 阪 中 毒 110 番 072-727-2499 24時間対応
つ づ ば 中 毒 110 番 029-852-9999 9時～21時対応

製造番号は容器に記載

製品情報お問い合わせ先・販売元

バイエル薬品株式会社
動物用薬品事業部
東京都千代田区丸の内1丁目6-5

製造販売元

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業部
東京都千代田区丸の内1丁目6-5

Bayer

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、傷害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

Knockbayt-2kg-JAPAN-JP79440367E-ARTICLE 79429029